

# 分散型識別子(DID)は、識別子によって特定されるデータの真正性を確認するための情報を手に入れる仕組み

分散型識別子  
(DID)

did:ion:EiD3DIbDgBCajj2zCkE48x74FKTV9\_Dcu1u\_imzZddDKfg

分散型識別子とDID Documentは、データレジストリに保存されている

↓  
識別子があれば識別子の持ち主を認証するための情報が得られる

DID Document

```
{ "@context": "https://w3id.org/did-resolution/v1",
  "didDocument": {
    "id": "did:ion:EiD3DIbDgBCajj2zCkE48x74FKTV9_Dcu1u_imzZddDKfg",
    "@context": [
      "https://www.w3.org/ns/did/v1",
      "service": [ { サービスエンドポイント情報 } ],
      "verificationMethod": [ { 公開鍵情報 } ],
      "authentication": [
        "#integrationTestKey"
      ] },
    "didDocumentMetadata": { メタデータ } }
```

DIDが含まれているデータの署名をこちらの公開鍵を用いて検証することでデータの真正性を確認できる  
(Verifiable Credentialの中のIssuerやSubject)



ブロックチェーンが適しているとされているが、ブロックチェーンである必要はない